[ユーコープ協力会]

協力会NEWS

NO. 5 2018年9月 _{年1回発行}

ユーコープ協力会 会長あいさつ

ユーコープ協力会の皆様に於かれましては、平素より 当会活動に一方ならぬご理解とご協力を賜り、厚く御礼 申し上げます。東日本大震災から7年が経ちましたが、去る 7月には豪雨、酷暑、西日本の水害や「逆走」台風など 各地に大打撃を与える自然災害が発生致しました。特に 暑さについては、人の身体や農作物の出来に深刻な影響 を及ぼしております。国内だけではなく、北極圏では気温が 33度にも達し、世界各地で異常な高温を記録、ミャンマー では「50年に一度の大洪水」が発生、温暖化が続くかぎり、 豪雨も猛暑も増え続けるものとみられております。

さて、わが国の食品市場規模は70兆円強となっており、内訳は内食が約35兆円、中食が約10兆円、外食は約25兆円ですが、日本は本格的な人口減少の時代に突入しており、食品市場は縮小、小売業を支える労働力も不足、女性の社会進出や高齢化、単独世帯の増加などを背景に手作り調理の機会は減少傾向にあります。中食・外食はさらに伸びる見込みであり、食をめぐる市場環境は今後益々変化するものと予測されます。その様な環境変化の中、ユーコープ様は、2020年ビジョン「人と人をつなぎ、生きるを支える」を掲げられ、新しい生協として船出をし、5年目を迎えられました。2018年度は第1次中期経営計画の最終年度であり、店舗事業では地域の方の「要望や声」を時間をかけてじっくりと聴き、その声を生かした地域の拠点となる店づくりを目指して計画的な店舗の改装・修繕を推進、2018年度~2019年度で12店舗を予定していると伺っております。

宅配事業では地域・組合員とのつながりを深め、よりニーズにあった事業を展開、組合員に「わかりやすい」「見やすい」「買いやすい」紙面を9月から展開されており、利便性を改善するための注文アプリの開発など、利用を促進する様々な取り組みを進めていると伺っております。私ども協力会メンバーはこの両事業におきまして、全力を挙げてご支援申し上げる所存で御座います。また、オリジナル商品開発も一層強化されており、幅広い産直原料を使用した「ユーコープセレクション」の認知度もあがり、利用者も年々



増加、価値を伝え更なる発展の為に、組合員の声に耳を傾け、低価格志向型から生活提案志向型への転換を目指し、コープの価値を伝えるキーアイテムになりつつあると伺っております。

今期も会員各社様と一緒になってユーコープ様の活動を全面的に支援し、盛り立て、目標達成に向け全力を尽くして参りますので、引き続き皆様の更なるご協力をお願い申し上げます。

ユ ー コ ー プ が 取り組んできたこと ▶

いただいた声から組合員の気持ちを想像し、 くらしに貢献することを大切に

組合員の声をメモし、それを改善につなげる取り組みが宅配センターや店舗など各職場で広がっています。例えば湘南台店(藤沢市)では月に1回職員やパート職員、アルバイトが集まって「この商品の売場をよく聞かれるけどどうしたら良い?」などと話し合い、組合員の声を基に具体的な改善を進めています。



(神奈川県湘南台店)話し合いの様子

組合員に喜ばれた事例に光をあて、 共有しています

組合員に喜ばれた事例や優れた取り組みに組織として光をあて、感謝状の贈呈や、実践事例発表会(**)の開催、部内報への掲載など共有することで方針の浸透を進めています。

※実践事例発表会とは… 経営基本方針に沿った 好事例を事例の実践者 が報告し、おうちCO-OP センター長・店長・本部 職員が共有する会



実践事例発表会の様子

愛され広がっています ユーコープセレクション

新しい仲間が増えました(32品目)



組合員の声



組合員の小さな意見も取り上げて、すぐに 改善したり、何年もかかって開発されていることを知り、うれしくなりました。(ユーコープセレクション先行試食会参加者 あやさん)

3県産の

神奈川・静岡・山梨県産商品で地産地消

私たちのくらす地域で 生産されたものや、それを原料にした加工 品を開発しています。 身近な商品としておいしさを味わい、愛 着をもって育てます。

2017年度 開発件数: 4品



おうちCO-OPのカタログが 選べるようになりました

組合員から、「配布されるカタログが多すぎる」「どの商品がどこにのっているかわかりづらい」とのご意見をいただいていたため、2017年9月にわかりやすいカタログをめざして配置商品の整理・見直しを行い、2018年2月よりお買物めも、me-motto以外の非食品カタログを中心に、組合員が希望するカタログを選択できるようになりました。



組合員の「配布中止・配布希望」のご要望に合わせて登録できるよう、ご案内を進めました。

組合員の声



紙面が変わったことでカタログが見やすくなり、商品を選びやすくなりました。

組合員のお顔とお名前を覚えて親しみあるお店をめざしています

ユーコープでは、組合員のお顔とお名前を覚える取り組みを 進め、組合員により親しみを感じていただけるお店をめざし ています。愛甲店(厚木市)ではそのためにまず、職員の顔と

名前を知ってもらおうと、エプロンの背中に名札をつける取り組みを開始しました。背中にも名札をつけることで、作業中でも声をかけていただけることが増えました。



補聴器や介護に関する学習会を 開催しました

ユーコープの補聴器事業や福祉事業のことをもっとよく知っていただけるよう、福祉事業部の職員が神奈川県内のエリア会のイベントやちょボラ(**)の研修会、提携する福祉協議会が主催する学習会へ講師として参加しています。補聴器の視聴会や学習会に参加された方からは「もっと勉強したい」と大変好評です。

参加者の声

- 補聴器を装着したら雑音がなく聞きやすいのに驚いた。
- いろいろな福祉用具に触れることができて楽しかった。
- ◆介護保険について学べて参考になった。
- 認知症や活力低下についても勉強したい。

※ちょボラとは…「おたがいさま」を基本に困った時に助け合う、ちょっとしたボランティアの活動制度。

CO・OP 共済長期加入者向けの 感謝企画を実施しました

CO・OP共済を長年支えていただいた対象契約者へ感謝の 意を伝えることを目的に「感謝企画専用ダイレクトメール」を

お渡ししました。また、 ダイレクトメールに同封 したメッセージカードに は約700名の皆様から 心温まるメッセージを お寄せいただきました。



組合員の声

お守りの気持ちで加入したコープ共済ですが、幸せなことに一度もお世話になることなく過ごすことができました。保障の制度もさらに良くなり頼もしいです。

組合員に、地域の方に 「いいね!」が広がる情報発信

Facebookではユーコープのさまざまな取り組みや生産者とのつながりを発信、Instagramでは、組合員投稿も紹介しています。また、地域の方にもっとユーコープを知っていただき、参加や利用を広げるために機関誌mioの駅での配布に取り組んでいます(2018年1月~JR川崎駅)。



核兵器の廃絶と平和を願う署名に 取り組んでいます

2017年2月に呼びかけを始めた「ヒバクシャ国際署名」に、2018年8月27日現在19万917筆もの署名が寄せられています。2017年7月に国連で核兵器禁止条約が採択され、12月にはICANがノーベル平和賞を受賞しました。さらに世論の変化を後押しできるよう、2020年まで署名の取り組みを継続します。



署名活動の様子 大谷店 (海老名市)での

商品検査センターを探検? 小中学生が「食の安全」を実感・体感

夏休みの体験企画として、8月に商品検査センターで「実感・体感!コープ食の安全探検隊」を開催。放射能測定器や金属探知機を使ってみたり、色による味の感じ方を体験したり、本格的な顕微鏡をのぞいてみたり、普段できない体験に子どもたちは大満足。食の安全の取り組みを親子で実感・体感しました。



2018年8月18日開催の様

ユーコープ協力会 第5回総会と ユーコープ方針説明会を開催しました

7月24日(火)、新横浜プリンスホテルで「ユーコープ協力会 第5回総会」 および「ユーコープ方針説明会・試食説明会」を開催し、 協力会会員300社の計626人の方にご参加いただきました。

ユーコープ協力会 第5回総会



協力会の活動・収支の計画と報告4議案が全て可決されました。

ユーコープ方針説明会



総会後の「ユーコープ方針説明会」 では2017年度の到達点と2018年度 の取り組みについてご報告しました。





方針説明会でお伝えした方向性について、より具体的にご理解いただくことを目的にパネル展示と商品試食を行いました。 ご出席の皆さまには「いいね!」シールやアンケートにもご協力いただき、たくさんのお声をいただくことができました。

※協力会は、会員相互の親睦と相互に情報交流を行い会員の利益の増進をはかると共に、ユーコープの組合員のくらしの向上に貢献すること を通じて共存共栄をはかることを目的としています。 会員数322社(2018年7月現在)

___ ユーコープ協力会ニュース第5号 (2018年9月発行)

発行/ユーコープ協力会事務局 横浜市中区桜木町1-1-8 日石横浜ビル22階 発行責任者/ユーコープ協力会 会長 森山透 TEL:045-305-6100 FAX:045-305-6212